

合格発表の掲示板前に集まる受験生たち(木曾青峰高)



青峰と蘇南 116人が合格

県内公立高校の後期選抜試験（一般入試）の合格発表が17日行われ、木曾郡内では、木曾青峰の全日制84人（定時制は志願者なし）、蘇南の32人に吉報が届き、努力を続けてきた受験生の歓喜の聲が響いた。

木曾青峰高校の昇降口に合格者の受験番号が張り出されると、集まった30人ほどの受験生は「あった」などど声を上げ、ガッツポーズをしたり、友人同士

で抱き合ったりして喜んだ。スマートフォンで合格番号を撮影したり、家族に電話をして合格を伝えたりする姿も見られた。

ともに上松中学校出身で、インテリア科に合格した奈良祐樹君（15）は、前夜は緊張であまり眠れなかったと言い「ほっとした。高校では勉強が遅れないうように取り組みたい」と決意を話し、普通科に進む藤原弘達君（15）は「高校生活に

早く慣れて、いろんなことに挑戦したい」と期待を膨らませている。（向山 均）

【関連記事5面に】